

《茶日》

國花萬葉記

四十七 恒例年中行夏

四十五 寺社之古蹟 並華語

卅九 天子御陵墓 並諸社諸儀或古蹟墓

一 諸社神宮 並神社縁起社目

山城

一名 山城名所諸羽二重

卷第一之下

ル 3
3671
2



門 3
號 671
卷 2



日本
國

山城府所領社二重

卷一
之下

△諸社法社之類

上賀茂皇太神宮

毛呂坂玉城地

社領

式千七百石

神司

坂本依後

社領

惣三十一人

官の神山乃藤子之山名在社山二葉山

日新山 山形山名新山

△高社法度乃由り社領秘奥乃吳迹

おのり社領乃人年紀秘

や社乃由りや 井八所乃持社未社

るも月と云下地社乃指縁と儀

未ゆるといゆさす備不秘とるる

△社領云来去社領社秘とる

故不為社領と云と云△又古子為

社領乃社領何と云と云

△高社乃祭祀といく月廿一乃社

時依り即ら祭法乃執り

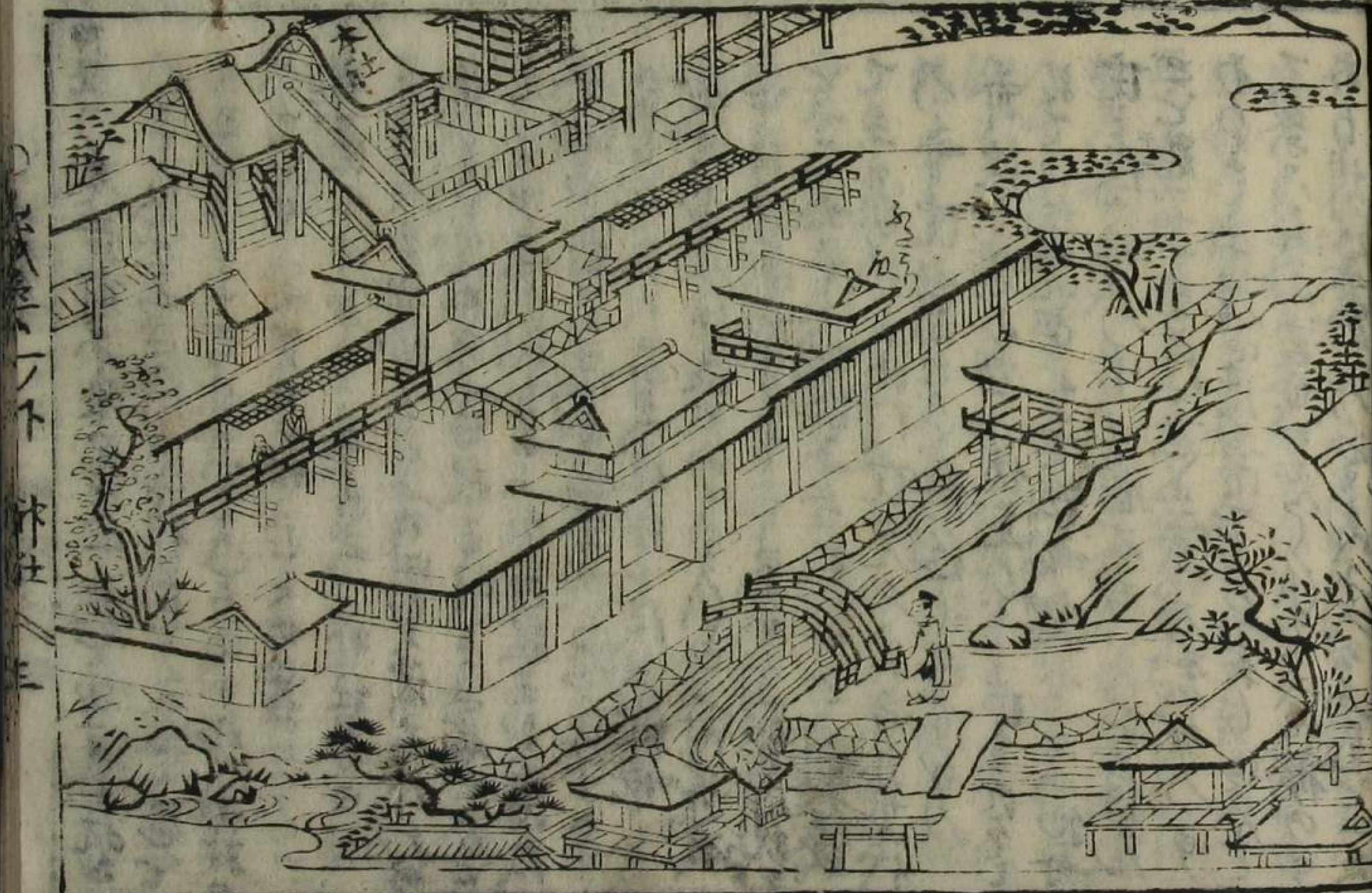
社領

上
夜
山



観音

岩



林
下

神託

一度音前不來口一礼と申すれども
と思ふとさうひく神力とらて思ふ
とげんまりて目とかさしたのまんくおた
てとや 元賢可秘と天徳論語

神託の事 延喜式 神社考曰

凡そ天皇即位一々の時如天武天皇の
御即位の時も内親王の御即位の時も
之の御即位の時も内親王の御即位の時も

世次おのりて法皇の御即位の時も
定まらばとて古くは都府に平城帝と

漢武帝の御即位の時も内親王の御即位の時も
帝の御即位の時も内親王の御即位の時も

とて始て神託の御即位の時も内親王の御即位の時も
てまの御即位の時も内親王の御即位の時も

乃神託の御即位の時も内親王の御即位の時も
神託の御即位の時も内親王の御即位の時も

後とて大田乃中大膳式或はたを新
どと然とて大田乃中大膳式或はたを新

わりの御即位の時も内親王の御即位の時も
てまの御即位の時も内親王の御即位の時も

あり神託の御即位の時も内親王の御即位の時も
神託の御即位の時も内親王の御即位の時も

乃とて大田乃中大膳式或はたを新
どと然とて大田乃中大膳式或はたを新

後とて大田乃中大膳式或はたを新
どと然とて大田乃中大膳式或はたを新

乃とて大田乃中大膳式或はたを新
どと然とて大田乃中大膳式或はたを新

後とて大田乃中大膳式或はたを新
どと然とて大田乃中大膳式或はたを新

乃とて大田乃中大膳式或はたを新
どと然とて大田乃中大膳式或はたを新

後とて大田乃中大膳式或はたを新
どと然とて大田乃中大膳式或はたを新

乃とて大田乃中大膳式或はたを新
どと然とて大田乃中大膳式或はたを新

後とて大田乃中大膳式或はたを新
どと然とて大田乃中大膳式或はたを新

乃とて大田乃中大膳式或はたを新
どと然とて大田乃中大膳式或はたを新

後とて大田乃中大膳式或はたを新
どと然とて大田乃中大膳式或はたを新

のころや 涇川百首 仲の長の子

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

△同日社家より 天子の御幸外伝處へ

むかしかすのくもく山あり化和三年月
廿六日皇く皇太子あり歸月天白あり位
小崩ありと云ありと云ありと云ありと云あり
寛平元年十二月廿二日始く賀茂乃院附の
系と仍ひありとありこれ林社ありとあり

新勅撰
臨時乃系とあり三所 法性寺あり
山ありとありとありとありとありとありとあり
山ありとありとありとありとありとありとあり

下賀茂神祖大社宮

王殿より六六所
子丑の方

社領 九百四拾八余

新乃月小文展あり此所を祀れ之り未森あり
入小南向小を文と川合と云賀茂川を賀茂川
乃ありとありとありとありとありとありとあり
より三四町ありとありとありとありとあり

山家
月此所神祖ありとありとありとありとありとあり
山ありとありとありとありとありとありとあり

多々神二座 所謂 玉依姫 大己貴命

▲玉依姫 系圖前小祀を別別神ありとあり

▲大己貴命 素盞馬尊乃由子也

▲菅原府志曰 上賀茂乃社ハ山城國乃一也

白鳳年中小大己貴命下賀茂小年あり

大和國賀茂社あり山城國上賀茂別當

社ありとありとありとありとありとありとあり

一箇の月東室所乃此小社也とありとありとあり

假宮殿とありとありとありとありとありとあり

桓武天皇延暦三年夏五月於之山城國乙訓

郡小ありとありとありとありとありとありとあり

二月三月六月小奉儀たを奉中御記ありとあり

勅して賀茂乃神社ありとありとありとありとあり

山城國下賀茂

三月月後と云ふ事

松尾の古名は松尾と云ふ事
松尾の古名は松尾と云ふ事
松尾の古名は松尾と云ふ事
松尾の古名は松尾と云ふ事
松尾の古名は松尾と云ふ事

松尾社

山城國高野郡 松尾 聖廟 聖廟在
社額 九百三拾石

社家と決す

松尾勸修寺 同 桂島 同 蓮丸
同 宮内 同 左近 同 主税
同 民部 同 左衛門
松尾式部 同 集人

神方

山田若使 同 刑部 同 右京
同 左衛門 同 左衛門 同 左衛門
同 左衛門 同 左衛門 同 左衛門
同 左衛門 同 左衛門 同 左衛門
同 左衛門 同 左衛門 同 左衛門
同 左衛門 同 左衛門 同 左衛門
中川内近 同 左衛門 同 左衛門

本願

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々

万石寺所社奉々々々



第一 高皇產靈尊 天御中玉尊之子

第二 神皇產靈尊 高皇產靈尊之子

第三 魂留產靈尊 神皇實錄曰
元氣精氣

第四 生産魂尊 或天神自生産靈之子

第五 足産靈尊 道成魂神實錄曰
大己貴神所化也

第六 大宮賣神 專女神

第七 御食津神 豐受神

第八 事代王神 大己貴尊子

當社祇殿額之沙汰
日本最上日高日宮 掛樓門
則掛本殿破且之上

太元宮 則掛本殿鳥井二

日本八神殿 則掛本殿之上

日本最上南太神宮 有同額

日本國中三千餘座 掛本殿正面
天神地祇八百萬神 二行有

内宮宗 二額各掛祇宮鳥居蓋女筆敷

外宮源

以内外宗源之二類ハ故ニ皆院後一位皇子
乃多分リ宮中ハ日也縁夫長勝光公乃
兄在女身改光公乃女中ニ縁右及左長
義公乃乃室常徳院内府義尚公の女也
此等殿乃祇宮ニ懸乃野乃乃後宮乃
後陽成院乃由宸綴乃乃

祇園社 感神院十號 山城國愛宕郡
八坂郷鎮座

社領 百四拾石

長吏 寶光院

東梅坊 西梅坊

松之坊 江戸坂中

成徳院 作本座堂

植田左系 植田右系

植田左系 植田右系

廣慶院 廣慶院

所祭神三座

山崎表一ノ下 祇園社

六月十四日迄くゆり今より大宮札
祇園乃井跡 玉葉集社祇園
祇園乃井跡在徳越と人の男も三宮
及三奈成乃西時祇園に在幸治乃

祇園御旅所

糸橋日条通

稲荷社

又稲成 版成と云

糸橋より

東寺二里

社成

百六石

豊葦原 本記小云辰巳乃方小高と
倉稻龜乃倉跡あり支以社 有稲成
と云り今乃故小倉付なり社代乃稲成
は山本白ひのふもとてす兵三乃譽に
乃れ今乃今乃今乃今乃今乃今乃今乃
一月又今乃今乃今乃今乃今乃今乃
依人表儀時今乃今乃今乃今乃今乃

某の今乃今乃今乃今乃今乃今乃今乃
今乃今乃今乃今乃今乃今乃今乃今乃
平安誠然なり今乃今乃今乃今乃今乃
と云り今乃今乃今乃今乃今乃今乃今乃
系時今乃今乃今乃今乃今乃今乃今乃
乃井跡今乃今乃今乃今乃今乃今乃今乃

所系社 三座
大紙 本社 本花間系 三座 下り 又日大命
倉稲龜 中社 日名異神 三座 有
土稲社 又日大宮 雄ナリト 別本三由テ考之
今乃今乃今乃今乃今乃今乃今乃今乃今乃

梅社
田中社 後日今乃今乃今乃今乃今乃今乃
日大社 日大社 又日位吉四所所跡
御倉上社 三座 本宮後 白狐社 日所在之
明日荷回社 本宮 鴨社 本宮 御回社

明日荷回社 本宮 鴨社 本宮 御回社

天皇四年小勅云々日本紀三十卷之撰
廢帝乃天平宣字三年六月小宗道天皇
教皇帝之遺号也世之考其早及就
註小宗道乃百年小友乃教皇也主神也
後史世流之為社也少く中宗と祀せり

御香宮

山城國紀伊郡伏見里

社殿 三百石

高社八神田皇居乃まなり神傳其略記
の石清水乃神祀小足へり此里に神座
乃年紀神座に味をのり豊長秀吉
公伏見乃故也神座を神座と云ふ
所を神座と云ふ神座と云ふ
新地と稱して田地ふりし今乃其地也
故小右子と云ふ一書云今却て古
佛香宮と云ふ今乃其地也

金地宮

伏見御香宮境内重座天津太玉神下

今熊野神社

別當 竹真院

高社八神田皇居乃まなり神傳其略記
聖三之社殿と云ふ神座一乃所謂聖
護院末の第一王宮高社今熊野あり之
山の月高社の中と云ふ一乃其地也

岩王寺

東山里谷東に在 崇徳天皇德也

一乃中世世に云ふ神座一乃其地也
云段白川法皇德也神座一乃其地也
神座一乃其地也

聖護院德節院

東山下 聖護院

崇徳天皇弘仁年中 後乃乃十世月
高社尚神座と云ふ神座一乃其地也
治年中 聖城乃乃神座一乃其地也

崇徳天皇社

此社聖護院乃社の西

水尾社

愛宕山西、山腹水尾村に在

三洲天王宮

伏見在 牛頭天王と所祭也

天智天皇社

目世ノ麓御廟野是ナリ

天智天皇社 目世ノ麓御廟野是ナリ
此社いふより上世の本法村より可公文
乃乃人々を神祀也社氏十人乃其地
ハ其地也乃乃神座一乃其地也
後世乃乃神座一乃其地也

後白河院社

東野村三宮村白川寺ノ塔前在
下小野ニ在大明寺ト号ス

落葉社

嵯峨天皇乃皇后崩尔膝子習り事以之
乃皇后ヲ内侍后崩膝子撫后京御更
尚社后崩膝子乃父社 嵯峨天皇乃
川乃女ナリ花智子ハ梅文又神惠社
御後ナリト云

製餅社

嵯峨ノ中院ニ在

長崎社

嵯峨天皇乃皇后崩氏檀林皇居ノ所免

白雲社

日所小倉山乃禁乃小美アリ

奉社

野夫乃古島山乃禁

右何也也檀林皇居ト云事ナリ葬ト云
亦遠命也ノ葬乃後ト云事ナリ
駿ト云事ナリト云事ナリト云事ナリ
ちノ所也也檀林皇居ト云事ナリ
皇居ノ海乃区事小中ノ庵ハ此ノ徳
信ノ事ナリ檀林皇居ト云事ナリ
これハ皇居乃所也 庵山乃所也
云々ハ此ノ徳ノ所也

天満宮

王城ノ西拉如野右近ノ場
社領 五百八十石余

神事奉行 社司

松梅院 相官

徳勝院 日

妙慈院

所祭社 三座

天満天神

中殿

中納殿 鎌五吉社

西乃 北乃方

榊社

宰相殿

菅原

和泉殿

菅原

福部社 菅原

老松

木宮

白太史

渡邊

林職管在母之

一夜松

船宮

号ス

経藏乃前

小ニ 傳秘也云

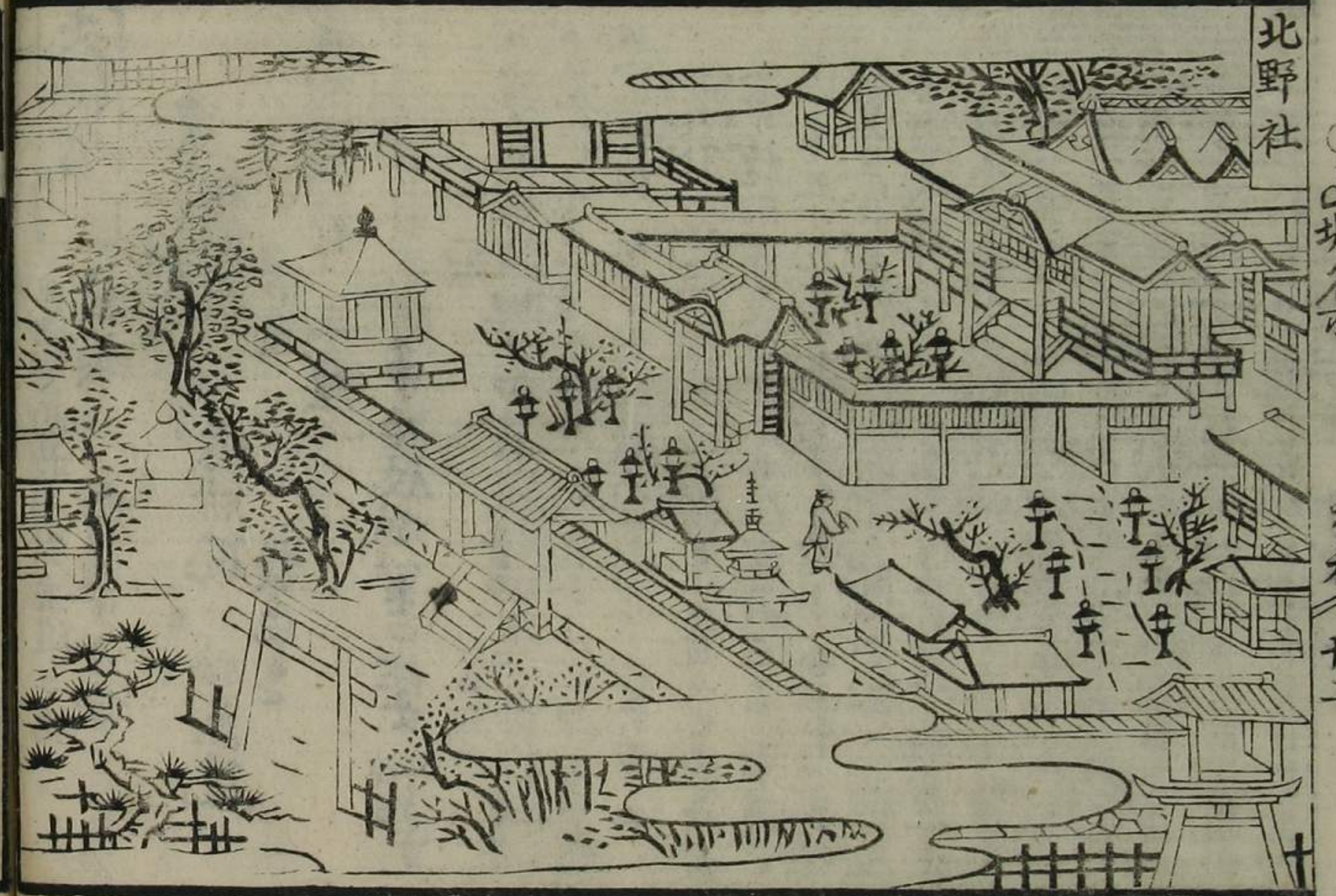
菅原ノ院 嵯峨天皇昌泰四年正月廿日小九列太
宰権卿小友过一自ハ迄在三年二月廿日
亦年五十九歳配中ノ豊小安樂小孫
有リ菅原乃院ニ在 周顯小教之
あり又林院乃者多 兼在院大等ニ在
七月小右系七条坊乃婢女女子云々
小孫 亦在協院ニ在 院宣あり村上天皇
天曆元年小小孫在在 場小安樂社
云々ノ社 院ニ在 院宣あり
此乃社乃院宣良種小院云々
小聖一一夜小松子云々



高雄山

神護寺

地藏院



北野社

乃社とて天満天神と云ふは一とあり
 う小社のく物月寺乃僧最殊と云ふ
 乃文子とカセあせと云社と云り
 天壇三年小石大石原系師彌實辰大
 厦と遺復と云其社と神威と云り
 菅井遊去より平六年小石より終る月
 年九月廿三日庚申乃夜内裏回保良
 改嘗敷度小及と敷文と作り云り
 小一敷乃より小天井乃裏板と作り云
 文字あり云 是らるを云まこもやけ
 かんまがそとや作ら乃のり云
 かさり云 これ小中と云社と云
 ますますと云おとれ北野宮と云
 らの 天子乃造云小僧と云宮と云
 云及小社云と云社と云り云
 正暦四年五月小朝使と宰府乃安樂寺
 小つり 福して云政大臣正一位と云
 小社と云社と云社と云社と云社と云
 昔為北野被悲士 今作西都雪恥屍
 生恨死歡共我奈 伎今望足護皇基
 云々云々云々云々云々云々云々云々

仁をまし社 社職とつとむを
 文子と物と女と云

續は撰集 小僧と云小僧と云
 日 小僧と云小僧と云小僧と云

▲小僧と云小僧と云 諸人々云
 外清くして清くして清くして
 如く如く如く如く如く如く如く

北野天神宮

いまの若原天満天神宮
 四神乃西乃日乃月乃星乃
 小僧乃内小あり 漢月日記云仁徳帝
 乃河原和三年二月小遣唐使乃小
 天神社殿と云野小ありと云
 社多り云菅井小多清と云人云
 云小多と云社号と云天社と云
 人混令と云と云と云

平野社

山後葛野郡 小石原

社名 九十石

桓武天皇延暦年中小治と云ふは久保
年中に系統行りて由社の八社乃社神之
所系社也

一 今木社 景行天皇の皇子用木良の孫氏社

二 文彦社 日女氏子也 仲敷天皇 平氏社

三 古岡社 彦社天皇の子 仁徳天皇 吉田氏社

四 比賣社 天照之神也 延保所也 大江山社

五 縣社 天徳日命也 中系氏也 菅原

六 攝社 秋篠 是品也 社神也

▲ 妻月社 ▲ 延保社

▲ 社託日 徳人の心徳く後々れり

社神を合ふりて云ふなりて云ふなり

おさるの社に云ふなりて云ふなり

老乃月の云ふなりて云ふなり

子孫承けの社に云ふなりて云ふなり

上御霊

中御霊

下御霊

▲ 海陽寺町並小町東入寺町
上のりてゆか
上東美く由藤所く古所津院
南

社名 上御霊九核名

社名 下御霊武石余

桓武天皇の由字不承子伊豫内親王

の系統と云ふ人民と云ふなりて云ふなり

修教之神 卷之八所と云ふなりて云ふなり

一 吉備霊公 林徳帝時石大巨成八十二歳薨

二 崇道天皇 光仁帝の子 藤原所記也

三 藤原大夫人 伊予親王の母也

四 藤原大夫人 桓武天皇の母也 謀叛也 且云

五 藤原大夫人 太平少貳藤原廣嗣也 又云

六 文太夫 文屋宮田丸也 逸勢有罪伊豆流

七 火雷神 菅原相也

右の内 早良王 吉備公 二座 上御霊

伊予王 藤原夫人 二座 下御霊

文太夫 額喜御霊

橘逸勢 下挂御霊

火雷神 上挂御霊

中近頃へ由藤所く古八所小きなり
如雲川大流あり社神れり木津川邊
法有るなりて三代天皇日徳和天皇
五年九月廿日社神泉苑於河原云々

乃水事之由及之... 白妙乃其... 物乃其...

貴布祿社

社 十一石...

此社... 高雷龍... 奥御前...

七野社

此社... 高雷龍... 奥御前... 七野社...

山崎宮

山崎宮... 社...

乃水事之由及之... 白妙乃其... 物乃其... 此社... 高雷龍... 奥御前... 七野社...

山孫大歲神乃由子也世六須治比女と尸
額云正一位向日大日神 道尾者とも
又附日向日のありて紅紫も此神の移るなり

四宮神 山城守源那 山階里在 又山神
曰云く号するもの山科十八日乃門三三三三
五三宮社の才曰の板小四と云と号と

所祭神 二座 徳神大日神 二座
天兒冠振命 天志玉命 宮道忌に
此二神ハ高皇產皇具多乃みとのりふ云く
天孫乃大孫其乃長とすは故二兩孫と名々
曰云河原い多にあり

園神 俗陽井通 觀音手 壽福院
延喜式 二日園神 一座 韓神 一座
曰云く内省ふるま内省ハ大内裏乃時大娘
内門乃小匣等乃西ふる延慶年中 長貴郡と
平安城ふるま乃時大内省とまらふは神と徳と
小孫乃んとす小孫花乃り形くはふふあり
奉納と云んとす一衣をもま内省ふるま
と大内裏美上乃りはふ小孫これなりいみ登の
二月十月廿日小孫あり今か荒神と云り

諏訪大明神 俗陽井通 觀音手 壽福院
東漸院
後後乃神乃大社の伝説小まうす神傳
こふとふと云く友王城は神傳のこふとふ
但神切里后三韓 近流乃此時住吉坂流と
いふ神の軍とす 神傳一かふ軍神と
又云於本洞院六角下し所人家の裏ふ古
しは社と地傳り後大町の及と云は所云
於津傳 松本連馬丸西入所南側のと

所祭神 最末忠文靈也 忠文の奉儀傳
松本史云也 神社一は九ふあく祀せり
六五字一代表本産院乃市守物故為門進討乃
伝美物軍とす 又本不負回と名門乃のふく
及秀卿 貝登とす乃切切の軍勳賞よ
あつり 忠文のまら我切切と云く小聖
實乃大長流法と云くはひく勳賞かたるを
うと云ひ流一けりまも 眞果と云りく
忠文のまら我切切と云く神小あり後流
忠文乃流唐二年十月七日正三位と授り
山列守流里 守流川控流ふる

松本史云也 神社一は九ふあく祀せり
六五字一代表本産院乃市守物故為門進討乃
伝美物軍とす 又本不負回と名門乃のふく
及秀卿 貝登とす乃切切の軍勳賞よ
あつり 忠文のまら我切切と云く小聖
實乃大長流法と云くはひく勳賞かたるを
うと云ひ流一けりまも 眞果と云りく
忠文のまら我切切と云く神小あり後流
忠文乃流唐二年十月七日正三位と授り
山列守流里 守流川控流ふる

山列守流里 守流川控流ふる

山列守流里 守流川控流ふる

山列守流里 守流川控流ふる

山列守流里 守流川控流ふる

山列守流里 守流川控流ふる

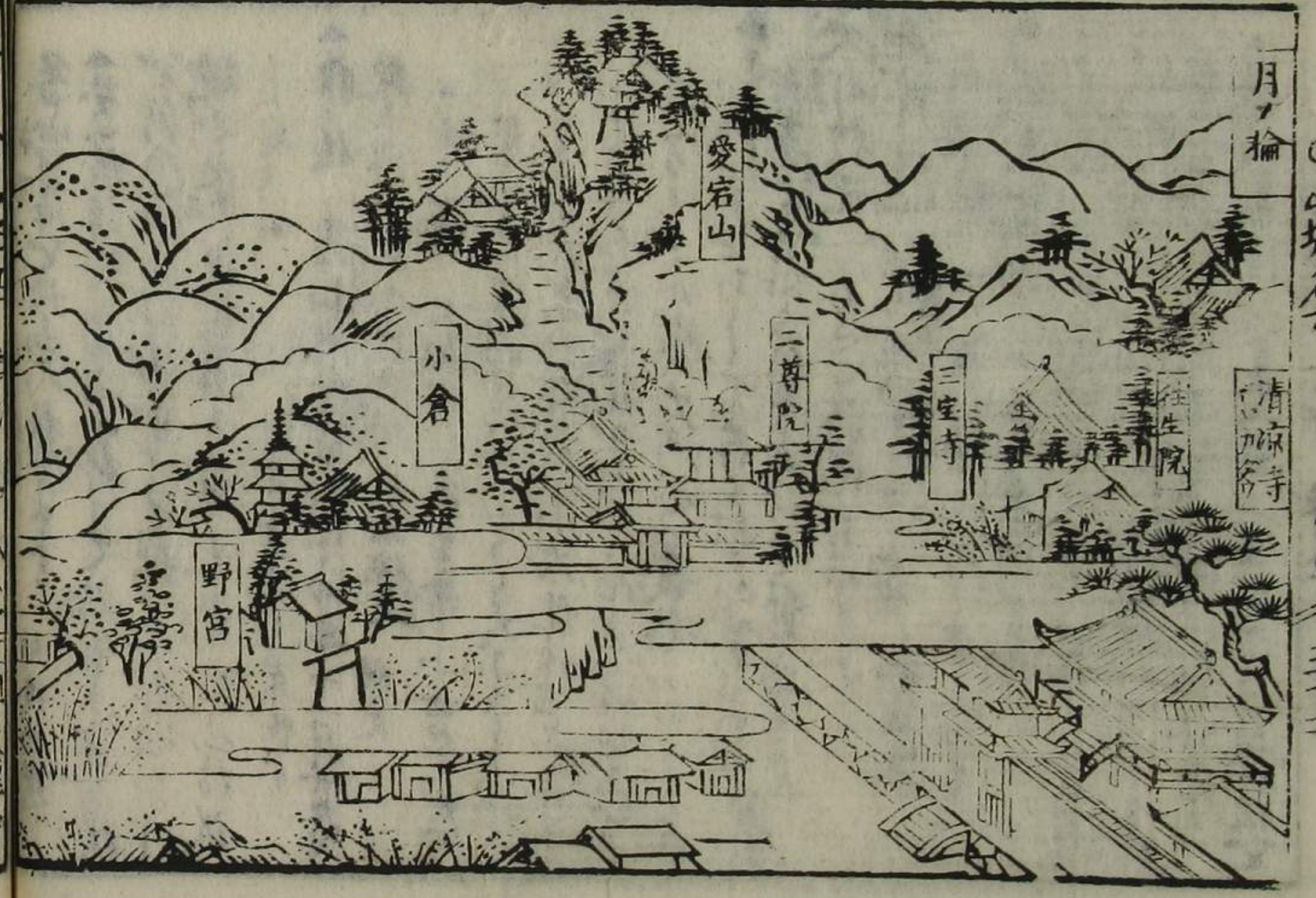
山列守流里 守流川控流ふる

山列守流里 守流川控流ふる

山列守流里 守流川控流ふる

山列守流里 守流川控流ふる

月輪



清涼寺

往生院

三寶寺

二尊院

愛宕山

小倉

野宮

天龍寺

西芳寺

法輪寺

松尾社

輪泉寺

千光寺



建同六年十一月三日三位と授く六月始奉官幣

名所の或るもの冬より七丈人のこと此の山崎

大宮通 皇土其賣北 是社社也

皇極古八斗のありあけの岩石ありてその

禁中ふらまじりし由るなりと其説ありて

不ふ後之れ垣と云く後ハ坊々其石

あり此社ハ子母乃乳汁と云りありて

非任志 醍醐通高辻通下町 社家千載院

此社ハ玉波津と云く若原後ハ心の御説

大巨貴命也 東山清水寺 鎮守

并々天女ト云 高辻通室所西八町

賀茂末社 祭十月申日也 大徳寺北

大宮通 安居院西 院王 而冥庇

此良の三云加物全胎表敷陰陽和合の容

あり龍秘佛と云流教是法より北山秋在ち

縣宮 禁裏西方北ノ御門邊也

此社ハ法圓乃外友縣乃の海月乃りて

時除位乃軍行乃りて此社と云

出雲乃道祖神 京極之北今ノ出雲乃

所祭神一庭 橋田美神 道祖神也

昔ハ系核乃西一条之海乃小ノ神

兼崔院天皇二年奉遷出雲乃路京極

今乃ち所海乃系核と云出雲乃乃系核

又乃此社乃社と云此小乃七条乃不

書乃系不云と云 公外父曾途 守神并

此乃社 中御門通西洞院也 小社二庭

系申日紀氏乃人系乃年始ハ物部

小件の日と云 此地ハ成道郷の四條

新日吉社 东山今徳野 日下或阿弥隆峯

此社ハ後白河院永居元年十月十日徳野

日吉と云山新文小秘と云二条院庶保二年

四月廿日始て新日吉の系乃乃の今乃

日吉乃大社ハ此別本坂ハ小が度也 此地

日吉社 祇園西南隅 在 古ハ山門乃之

新小中ノ日吉乃社也 此乃王城小

集乃乃其乃と云此小乃乃乃乃乃

根坂ハ此乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

世後是と云山王と云乃乃乃乃乃乃

葉山王宮 上京御原 在 子細右三

山乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

月吉口社 八瀬里ニリ 毎年四月申乃

恒例乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

生ハ其乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

此社乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

蘇我荒社 花巻下皇夷 院之 二室寺

此社二条院所之皇夷院造一室所承院之

早乙後小夜布正長保三年造美也

所祭神 一府 天照太神

此社之古右近之場小夜夜月荒子番乃時志陽乃老絶之場乃以小降下力山故也世人月降神ゆと云

神明宮 山城栗田口と又日ノ山と早乙

三代実録三日月 清和天皇皇管原船津小招して古神宮を粟田山小絶伝す別所此社あり之信元亨建武乃為次小四り

入野品左衛尉源宗光と云人山山下以發居して一社神化と云望く再興と云

神の社 四条通建仁寺筋近在目炳也藏堂角

源三伝實政伝と云りく怪鳥のわら時此社小夜記云やまのすかるといなり

神の社 号朝日宮 富小路条 社僧 和光院

神の社 姉小路西八町 社僧 宝性院

神の社 市原在 齊院村在

神の社 梅津村在 又世部令治橋西庄

神の社 山科追分西 谷陽白山通二条上

神の社 福王子宮 西山鳴瀑村在 神玉 石井祖と

神の社 仁和寺乃後守あり 老農者乃皇原

神の社 乃母居あり 殿子心あり命あり 桓武帝乃孫あり

神の社 西王子宮 京極四条近有 此社鳥毛祖立条下町

神の社 牛王社 六波羅寺本堂北ノ小社ナリ

神の社 四盃明神 洛陽西 源為義入乃末子老光也

神の社 神宮 倭勢無之乃聖妻あり 亦妻の意仁天皇乃皇女倭姫命より始り皇孫の命并小夜酒今心と云りなりあり

神の社 神宮 格き集個事也 野之小夜妻乃庚申一

後接

神明社

上京柳原在

古く伊勢祭主代也

地中へ遠拜乃而く別支之社宮ま
より傍小柳樹あり大木老樹枝葉か
かりまげりく幾年爲くると云ふと云
毎月一日十一日廿二日廿三日祭多神酒
と云社小傳して遠拜といふと云り

神明廿一社集詣所

一番	吉野社後文	二番	古町下鹿灵田
三番	古町今出川本福寺	四番	塔壇石事官
五番	上清灵	六番	柳原川勝子
七番	小聖東多田丁上	八番	出水寺千手
九番	小聖新町西入	十番	松光寺新町西
十一番	古町西四条辻	十二番	四条邊建仁寺南
十三番	三条邊東谷車及	十四番	栗田山
十五番	祇園塔下	十六番	灵山園之上
十七番	素為文八楼内	十八番	福初山奥社及
十九番	心町西七条上丁	廿番	富海寺上丁
廿一番	後小徳宗洞院及		

天子御陵墓

代天知天皇御陵

山科市廣野在

此天皇山科乃里小北橋一まひて水乳
見く多るがかり小石より水當乃流あぶ
りて多るをさるる一とて御陵と云ふ處
御社社と云ふ御陵の略と云ふなり

神桓武天皇御陵

檀原乃御陵村の東

神淡織天皇御陵

廣沢乃池乃西光禰

神仁明天皇御陵

深草安土乃院在

神文徳天皇御陵

田邊乃御所之故小田

神清和天皇御陵

下栗田山小大葬

神光孝天皇御陵

西旁乃乃南宮乃在

山科市廣野在

後小町へは移る所の美言宗へ後改て
時宗と大炊乃場と号又文白皇仁和寺
と再身一より西陵仁和寺西田乃凡
あり今志業乃東山小松と云所は帝の
基陵なり仍く小松帝と号ス

辨 宇多天皇御陵 仁和寺乃中宮の御
あり故小宇多院と号ス

辨 醍醐天皇御陵 醍醐乃小曼陀羅堂
乃西宮あり長元九年四月十七日崩
东山御樂屋乃東宮御葬今乃曼陀
樹院これに他一後醍醐改め葬る

辨 朱雀天皇御陵 小醍醐陵村あり
外御性院乃安内近某が墓あり
竹藪乃内あり

辨 村上天皇御陵 右河内在
七之社あり

辨 冷泉天皇御陵 七之社あり
兼聖雲林院あり
兼花物院ありと云人の中へ天皇塚と云
は兼花乃よりと云高き處ありと云朝光
文仁和寺兼融院あり今云と云

辨 新花園院御陵 山科元宮寺あり
是處御葬ありと云大正御小玉也り

辨 一條院御陵 大北山石敷あり在存三
條院御陵と因所

辨 後深草院御陵 北山あり在干利体
は後乃御塔石と云用て己ら御物に
と云と云又云二条院乃御塔と云り
也也り

辨 後三条院御陵 大北山あり在一条院御
陵と云と云又云御東屋乃東色御葬
なり源中納言英経乃御骨と云也り
山陵御納言と云今云と云

辨 白川院御陵 蓮宗王院東法隆院
乃内小川院乃御像と云奉三月十
三日開帳又山科甲乙文白川古也
鳥羽院御陵 本御塔と云

辨 鳥羽院御陵 本御塔と云
竹田安徳寺御陵あり

辨 山崎院御陵 祇園乃南安井の寺
是院ありと云院は兼教花の云と云
ありて教と云御下衣新乃御像并
深草院同為御像也云

辨 後白河院御陵 五条下町長壽堂在
洛山御山乃御葬在

辨 二條院御陵 在 此後乃上小又重乃御塔在干利体

辨 山崎院御陵 祇園乃南安井の寺

山崎院御陵 祇園乃南安井の寺

之九幡とて已が九巻乃塔より今又
値る乃中聚光院ふもそ修持塔々の
敷石或いはあずみ小舟より於末塔にて
踏石よりせりたるら振籍身乃乃物ぬ
少くもたる果くも罪を免り終り
刑獄あかりて英林と堅り

高倉院水浸

滑谷法馬あわり

宸彩の契あも乃什物ふくま今
我里正竹坊あも

後名羽院水浸

まお中く水背

と大原山あ納む理性院乃色り水廊
張りてと吹流院乃水製續古今
あも多れ元今之西と伴あせか又

四糸院水浸

法南泉涌寺在

後宇心院水浸

仁和寺乃西小蓮宗

峯不在はち中絶しとて正保年中
お江成乃人毛と再真りて五智の石像
と壇座を毛とせり又神仲と云又
西畠安井村お水塔あり

後伏見院水浸

北白川在今皇極

後二糸院水浸

北白川在今皇極

花室院水浸

妙心寺乃内玉園院

在古宸筆乃流新ます是と流
乃流新と云は帝後世愛通あるるを
慮らせあひて七下お流浸と並りゆ
梅津村お萩原お一堆乃古墳あり是
と去人皇塚とあり又梅津お福あ
宸彩と並り毛七幅乃流し萩原院
こまこまの毛あゆり

後醍醐天皇水浸

天竜寺乃内多良

院ふるも又さうの大沢村のお五雨の内五

後光嚴院水浸

泉涌寺在

後善徳院水浸

同寺在

後小松院水浸

同寺在

後光院水浸

同寺在

後花園院水浸

北条全別山大慈寺

在元ハ泉涌寺乃末院悲回院之在也
悲回院之泉涌寺へり故大慈寺を
て流あまると云件乃悲回院中
火葬しなり水背と丹波お常照寺
乃内光嚴院乃水浸乃傍あ納むと云
流お常照寺お水浸は今大慈寺在

後去水門院水浸

泉涌寺在

融大后墓

檀林皇后水墓

建礼门院水墓

同寺像

田村将军像

平相法澄公墓

同教像

吉備大后像

牛后元 教

足利三代氏将军像

同 十三代之 像

同 三代目 满公像

同 慈照院 政公像

同 光原院 景晖公像

同 善后寺 周秀吉公像

同 政所 湖月居士像

同 白秀次公 教

同 西母 瑞院 教

同 波内 信 教

同 安法 后 像

醍醐天皇御子 醍醐法皇御

同 天皇御后 六田所

醍醐院御后 小山寺尾院御

信乃寺田村寺云 东山寺云

同 堂云

醍醐法皇御

东山六波院御

善后院 善堂吉田寺

醍醐寺

天龍寺 在

小山 善后院 在

小山 麻苑寺 在

东山岸 古村 慈照寺 在

小山 麻苑寺 在

东山 善后寺 在

同 寺 在

东山 善后寺 在

同 寺 在

寂光院 在

古町 三条上 天正寺 在

古町 善后院 安法寺 在

小形 尊 墓

同 像

同 惠上人 像

同 德真和尚 像

同 乃元和尚 像

同 圣真和尚 像

同 大灯国师 像

同 一休和尚 像

同 圣一 国师 像

同 善意 国师 像

同 弘法 大师 像

同 像

同 像

同 惠大 师 像

同 为 膳 院 同

同 法 统 上 人 是 引 教

同 张 子 教

同 墓

同 墓

同 像

千本 白毫院 在

东山 六波院 善后寺 在

拇尾 善后寺 在

土生 地善院 在

宇治 真善寺 在

上院 醍醐 在

茶型 天德寺 在

大德寺 善后寺 在

山城 善后寺 在

东南 友口 山 东福寺 在

天德寺 在

九條 东寺 在

高野山 祇园寺 在

西山 仁和寺 在

比叡山 在 同 栗田寺 在 道院

同 船舟院 同 庵山寺

醍醐 二寺 院 在

西山 栗田寺 光德寺 在

北叡山 善后寺 同 栗田寺 在 寺

新善后 舍 善后寺 在

东山 六波院 善后寺 在

同 善后院 在

同墓

親鸞上人像

日墓

一邇上人像

同像

圓何上人像

蓮生法師像

同像

袋中上人像

日墓

九条慈雲云像

苾芻上人像

平基上人像

仁工運慶日蓮云像

徳元持淨像

前田統宗年像

祥壽院友像

摩耶夫人像

足下子母像

夜叉神像

同像

伏生神像

夷野廬像

次信忠像

徳若蓮生像

平氏教整像

小督局墓

法舟納云墓

如石徳清云墓

小聖於風墓

月女即墓

系極黄門定家墓

式子内親墓

自持居士墓

伴隆貴所像

守敏像

十万上人像

喜撰法師墓

京極元也寺日山科西光寺

新王若金戒光の寺

東山谷浄堂

五条浄教堂 彰長寺

全光寺

灵山法与同 中山 双林寺

高法法与同 墨谷 蓮浄院

栗生光の寺

三条持東 法与同 用基

素持東 袋中 店

西山月輪 在

高三 条 上 文 田 寺

東山長樂寺

仁工運慶 日蓮 云 像

徳元持淨 像

前田統宗 年 像

祥壽院 友 像

摩耶夫人 像

足下子母 像

夜叉神 像

同像

伏生神 像

夷野廬 像

次信忠 像

徳若蓮生 像

平氏教整 像

小督局 墓

法舟納云 墓

如石徳清云 墓

小聖於風 墓

月女即 墓

系極黄門 定家 墓

式子内親 墓

自持居士 墓

伴隆貴所 像

守敏像

十万上人 像

喜撰法師 墓

右の古今新像並ニ墓所并依教書等

以下の依墓は分り山聖人故小寺

と堂小属より此と書記有今も堂

不在所の寺の院の下ニ數ヶ所

と又も院小属より再此と書記

大外石垣町

三葉院

中山 彰長寺

大井川

高 浄教寺

下名持徳像寺

八幡

大同

夜堂

西寺と南大欣喜寺

東寺南門より福田寺

小聖云西より井ノ脇在

他世人忌乃儀寺又茨屋院林在

洛西 西院村

依城 浄涼寺内

宇治 三宮戸

道好法師墓

道好法師墓長泉寺
是好法師墓西之平一向列國尾山禁無
國分寺小寺

互原行平物居塔

能同法師塔

安倍晴時塔

明有光秀墓

石川丈山墓

魔城塚

夜敷史塔

林成祠堂

石塔

高生塚

協傑塚

大中小山

源光塚

源光初塔

定同法師塚

平家一族塚

以智坊塔

中右殿山

建前山

乙孫

野間

武田

茶通 琴弓善三

高瀬 小右衛門村

三条 兼心 史子

下粟田谷川町民家

一乘寺 南鑑山ノ上

法隆寺ノ良ノ隅ニ

相公寺内 曹光院

本山ニ入御ニ

民部法下 卷林道云、博子彦

我ノ人伝傳多シ門ノ出ノ曆ニ身

西正月廿三日七十二宗

三条小橋中 瑞泉寺

毎年座頭四条川原 建之云

五条北鳥丸 大善院

舟山ノ南田

多助山

崎瀧乃山

月所梅畑蓮花谷ニ在

松尾小乃山脈ニ在

中右殿山ノ以智坊

建前山ノ以智坊

乙孫ノ以智坊

野間ノ以智坊

武田ノ以智坊

武田ノ以智坊

武田ノ以智坊

武田ノ以智坊

武田ノ以智坊

武田ノ以智坊

武田ノ以智坊

武田ノ以智坊

伯如匯啟

瑞應山

千本釈尊堂の天孫也

再貞贈位一位加賀
大納言及家室春院

後法輪寺

小倉山

後法二寺

小倉山乃稱其花より号と小聖乃凡が額
古へ掛門小なる今に移る

寂光寺再貞萬門秀光の母儀
後井俊宗守息女為二世安樂也

後先寂院

下条

仁和寺

水田三味

东山 先雲寺

成烈祠

东山 南禅寺

究竟頂

大和山 鹿野寺

麻呂寺

同寺

等持寺

西小倉

承明

開山後号 長福寺

勝持寺

大和山 花寺

偈月橋

东山 东福寺

通天

掛橋在 同寺

去宗院

深茅 別寺号

道念寺

言野村 別寺号

引接寺

千本 別寺号

補陀落山南通真園

泉涌寺 別寺

此額の周山及び乃時庵より福来あり

年中行事

正月

初寅日

数多き毘沙門天あり

七月

箕面山并々天あり此月毎六天
天祚あり富実寺に人集まると云

十五日

来八东山 灵山 祝儀法勤あり此より

十六日

永親堂 大般若持徳去

七月十六日

後法輪寺 堂六每念佛

十九日

八幡山 瘦形あり

十九日

法給上人 法居 智母院

百萬遍 降急院 忌言此四ヶ寺あり

中ノ子日 大津祭

八日 依古澤佛堂此日依古澤水と

九日 敷山戒壇堂因幡

十日 傳為地主祭

十一日 文園子系此日三井古屋子西へ
糸山京ヲ推米町安寺
ゆゑに依人釋其又

十二日 賀茂競馬乃足掛

十三日 同競馬同日為森祭競馬

十四日 今文島祭

十五日 祇園水樂洗

十六日 祇園水山坪後り物

十七日 祇園水山坪後り物

十八日 同祭事

十九日 七月十四日 祇園乃依旅あり

二十日 比乃川系夕湯とて湯中乃美徳河

二十一日 表不床を渡し越與と

二十二日 相國寺滅法此日三門をばつを
表風と云併せ初す

二十三日 度歌涼徳武石段不似り

二十四日 鞍馬作依

二十五日 北月ヨリ晦日ニテ 下賀茂礼佛子洗清の夜

二十六日 北四日 あり山乃十日系

二十七日 北五日 法吉乃虫なり

二十八日 晦日 賀茂乃五月 徳なり

二十九日 同日 河川度涼系此日系中乃等
系清と云ふ

六月

五月

朔日

五日

八日

十五日

晦日

七月

北月ヨリ晦日ニテ

北四日

北五日

晦日

同日

六日

七日

同日

九日

十日

十五日

十五日

十五日

十六日

十六日

十六日

山崎祭一ノ下 年中 四十九



日無照寺津去ちある村入心民也小宗
 上り松本とせし長二三人なり小成て
 家不地り細くはるる日なり多し十六
 日乃れ小成を山より入るる小成の字
 乃れ小成の字なり松本とせしありしなり
 大乃一子横乃一屋又長二四十月は
 乃小成火十石た燕乃一屋乃長二八
 十月は乃れ長火廿九石右燕乃一屋
 六十八石乃れ乃小成火廿九石燕乃一屋
 あり長二乃れ乃れ上り松本とせしなり
 大を能く時なり松本とせしなり
 命なり全姓火文字とせしなり松本乃れ
 凡四石餘大成あり一人分小成又なり
 今我は乃れ火とせしなり松本とせしなり
 得りて他なり小成なり松本とせしなり
 宗なり松本とせしなり松本とせしなり
 今日小成り退治なり松本の燕火も
 く乃れ小成り退治なり松本の燕火も
 松本とせしなり松本とせしなり松本とせしなり
 松本とせしなり松本とせしなり松本とせしなり
 十月六日 松本とせしなり松本とせしなり
 十月十日 松本とせしなり松本とせしなり

山崎一平 年申 五十

十八日 清見乃乃氏流儀出上下同日
廿四日 六地祭

八月

朔日 松尾乃乃氏
十五日 八幡放生
同日 素若乃八幡 庄流儀出西八幡乃乃氏
十六日 菟大長祭 松尾乃乃氏新町西入丁
十八日 庄流儀
廿二日 志子氏 志素度際乃乃氏

九月

四日 水野祭 同日 本懐祭
八日 泉涌寺金利会
九日 然社乃乃氏 伏見清香乃乃氏
十日 下高井祭 山科田之文祭
十一日 吉田乃乃氏
十日 伊勢乃乃氏 例幣使乃乃氏
十二日 右祭
十三日 白川祭
十五日 岩藏祭 同日 栗田乃乃氏
十六日 岩藏祭 本山

十月

廿二日 飯島祭 庄仁町 庄乃乃氏
廿四日 飯島祭 八幡乃乃氏
廿六日 小山祭
廿八日 鳴滝祭

十一月

五日 妙心寺蓮乃乃氏
十五日 津云乃乃氏
十三日 日蓮乃乃氏
十五日 廣瀬乃乃氏
同日 松尾乃乃氏
十六日 赤福乃乃氏
十七日 庄乃乃氏
廿日 庄乃乃氏

十二月

八日 庄乃乃氏
十三日 庄乃乃氏
同日 庄乃乃氏
廿二日 庄乃乃氏
廿四日 庄乃乃氏
十二月廿四日 庄乃乃氏

庄乃乃氏

廿日 宇賀系

十二月

十五日 八幡宮ハチマングヤ系

廿二日 大徳寺オホトクジ系

十九日と廿一日 仏名経ブツナキョウ系

廿日 祇園社ギョエンジヤ系

廿日 五条天神系

同日 吉田系

右中ミナト竹タケ牙キバ以外ソノタ源ヒナ系

山城府所祀各一之下

47942

